

1 規程関係

- 要綱 : 札幌市災害時基幹病院制度実施要綱【H8.9.6】
- 対象病院 : 札幌市災害時基幹病院指定対象病院【H8.9.6】
- 要領 : 札幌市災害時基幹病院指定要領【H8.9.6】

2 札幌市災害時基幹病院(現行)

指定対象病院の条件

札幌市内の病院のうち、災害時に24時間体制による緊急手術が可能な外科・整形外科等の診療科目を有すること

指定対象病院の配慮要件

- ① 札幌市の地域防災計画上必要と考えられる場所に配置していること。
- ② ヘリポートあるいはヘリコプター離着陸スペースを確保できること。
- ③ 札幌市内の地域バランスを考慮し、1区に1病院以上を指定すること。

札幌市災害時基幹病院一覧(H30.2現在)

3 災害対策等実態調査結果の概要

- ・耐震又は免震構造となっている病院 ⇒ 約77%
- ・搬送のためのヘリコプター離着陸スペースがある病院 ⇒ 約7.8%
- ・事業継続医計画(BCP)を策定済の病院 ⇒ 約21%
- ・防災計画または防災マニュアルを策定している病院 ⇒ 約92%

4 札幌市災害時基幹病院(候補)

候補病院の選定方法

清田区
南区

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき北海道知事が認定した救急告示医療機関を抜粋

その他の区

- ・平成29年末に市内の病院を対象に実施した、災害対策等実態調査をもとに選定
- ・病床数が少ない病院は対応が難しいと考え、一般病床数が200床以上を有する病院のうち、救急告示医療機関を抜粋
- ・そのうち、標榜科目に外科・消化器外科(胃腸外科)、脳神経外科、整形外科、救急科のいずれかを含む病院を選定

	番号	基幹病院名称	所在地(区)	救急告示	二次救急※1	病床数(一般病床)	調査票					ヘリコプター離着陸場所/重量制限
							標榜科目					
							外科	消化器外科(胃腸外科)	脳神経外科	整形外科	救急科	
基幹病院	①	札幌医科大学附属病院※2	中央	○	-	890	○	-	○	○	○	屋上/10t
	②	市立札幌病院※3	中央	○	○	701	○	○	○	○	○	屋上/6t
	③	札幌厚生病院	中央	○	○	519	○	-	-	○	-	-
	④	NTT東日本札幌病院	中央	○	○	301	○	○	-	○	-	-
	⑤	北海道大学病院※3	北	○	-	874	○	○	○	○	○	敷地内平坦部/特になし
	⑥	勤医協中央病院	東	○	○	450	○	○	-	○	○	-
	⑦	札幌東徳洲会病院	東	○	○	325	○	-	○	○	○	-
	⑧	北海道がんセンター	白石	○	-	520	○	○	○	○	-	-
	⑨	JCHO札幌北辰病院	厚別	○	○	276	○	○	-	○	-	敷地内平坦部/特になし
	⑩	JCHO北海道病院	豊平	○	○	312	○	○	-	○	-	-
	⑪	北海道医療センター※3	西	○	△	410	○	-	○	○	○	敷地内平坦部/特になし
	⑫	手稲溪仁会病院※3	手稲	○	○	670	○	○	○	○	○	屋上/5.4t

※1 二次救急においては、けが災害の外科系も担っている医療機関を○とし、けが災害の外科系以外の診療系のみ場合は△としている。

※2 北海道知事が指定する基幹災害拠点病院 ※3 北海道知事が指定する地域災害拠点病院

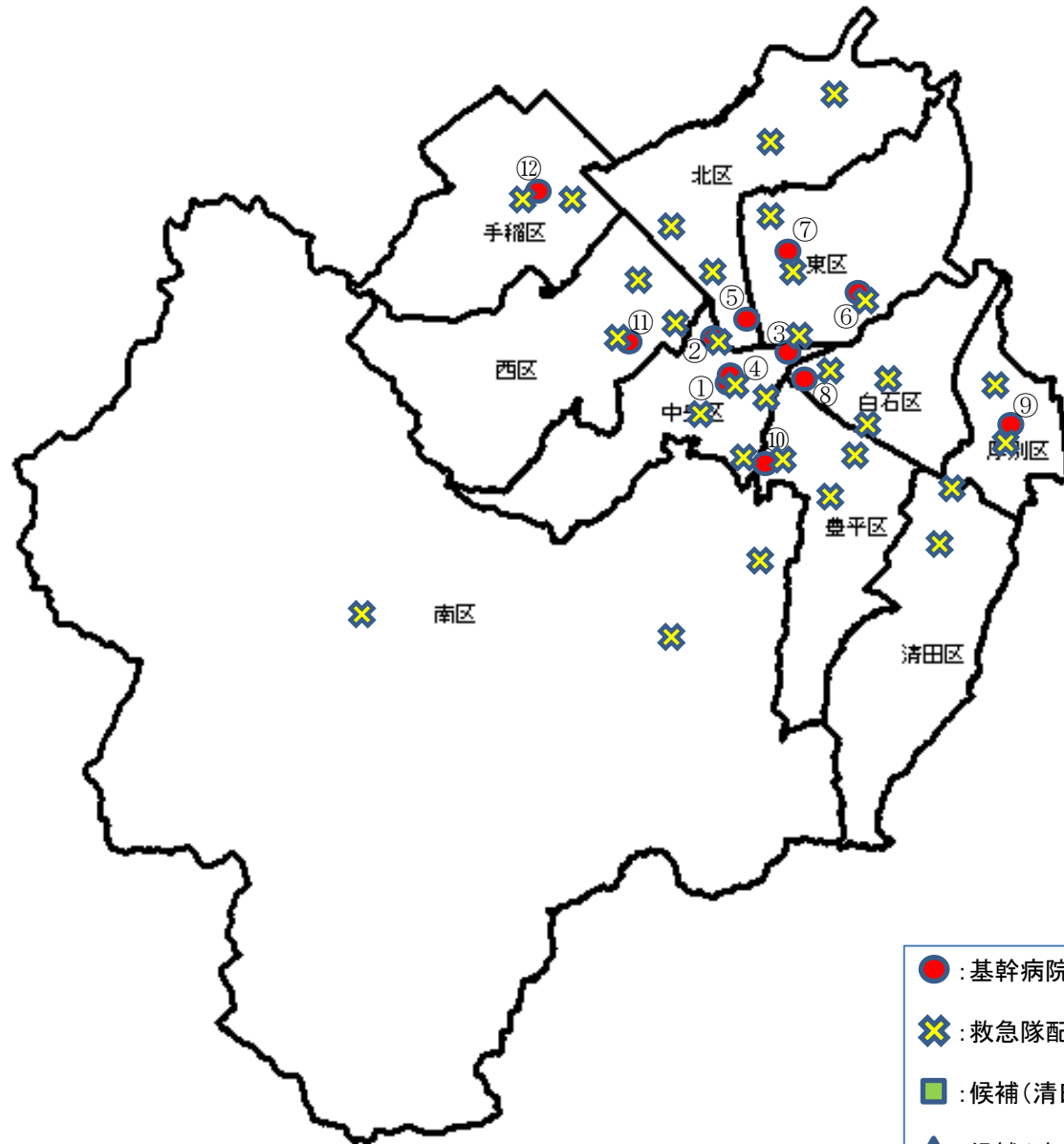
札幌市災害時基幹病院の候補一覧

	番号	病院名称	所在地 (区)	救急 告示	二次 救急※	病床数 (一般病床)	調査票					ヘリコプター 離着陸スペース
							標榜科目					
							外科	消化器外科 (胃腸外科)	脳神経外科	整形外科	救急科	
清田・南 区の候 補	a	札幌清田整形外科病院	清田	○	-	54	-	-	-	○	-	-
	b	札幌里塚病院	清田	○	○	99	○	○	-	○	-	-
	c	札幌整形循環器病院	清田	○	-	120	-	-	-	○	-	-
	d	小笠原記念札幌病院	南	○	△	80	○	○	-	○	-	-
	e	札幌南整形外科病院	南	○	-	120	-	-	-	○	-	-
	f	中村記念南病院	南	○	△	173	-	-	○	-	○	-
	g	五輪橋整形外科病院	南	○	-	95	-	-	-	○	-	-
	h	自衛隊札幌病院	南	○	△	170	○	-	○	○	-	真駒内駐屯地内 /特になし
その 他の 区 の 候 補	A	中村記念病院	中央	○	△	499	○	○	○	○	-	-
	B	JR札幌病院	中央	○	○	312	○	-	-	○	-	-
	C	時計台記念病院	中央	○	△	250	○	-	○	○	-	-
	D	斗南病院	中央	○	○	243	-	○	-	○	-	-
	E	札幌禎心会病院	東	○	△	279	-	○	○	-	-	-
	F	天使病院	東	○	○	260	○	-	-	○	-	-
	G	クラーク病院	東	○	-	225	-	-	-	○	-	-
	H	札幌北楡病院	白石	○	○	281	○	-	-	○	-	-
	I	社会医療法人 恵佑会札幌病院	白石	○	△	229	○	○	-	-	-	-
	J	医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	厚別	○	○	301	○	-	○	○	○	屋上/6t
	K	医療法人北海道整形外科記念病院	豊平	○	-	225	-	-	-	○	-	-
L	KKR 札幌医療センター	豊平	○	○	450	○	○	○	○	○	-	
M	北海道大野記念病院	西	○	△	276	○	○	○	○	-	屋上/7t	

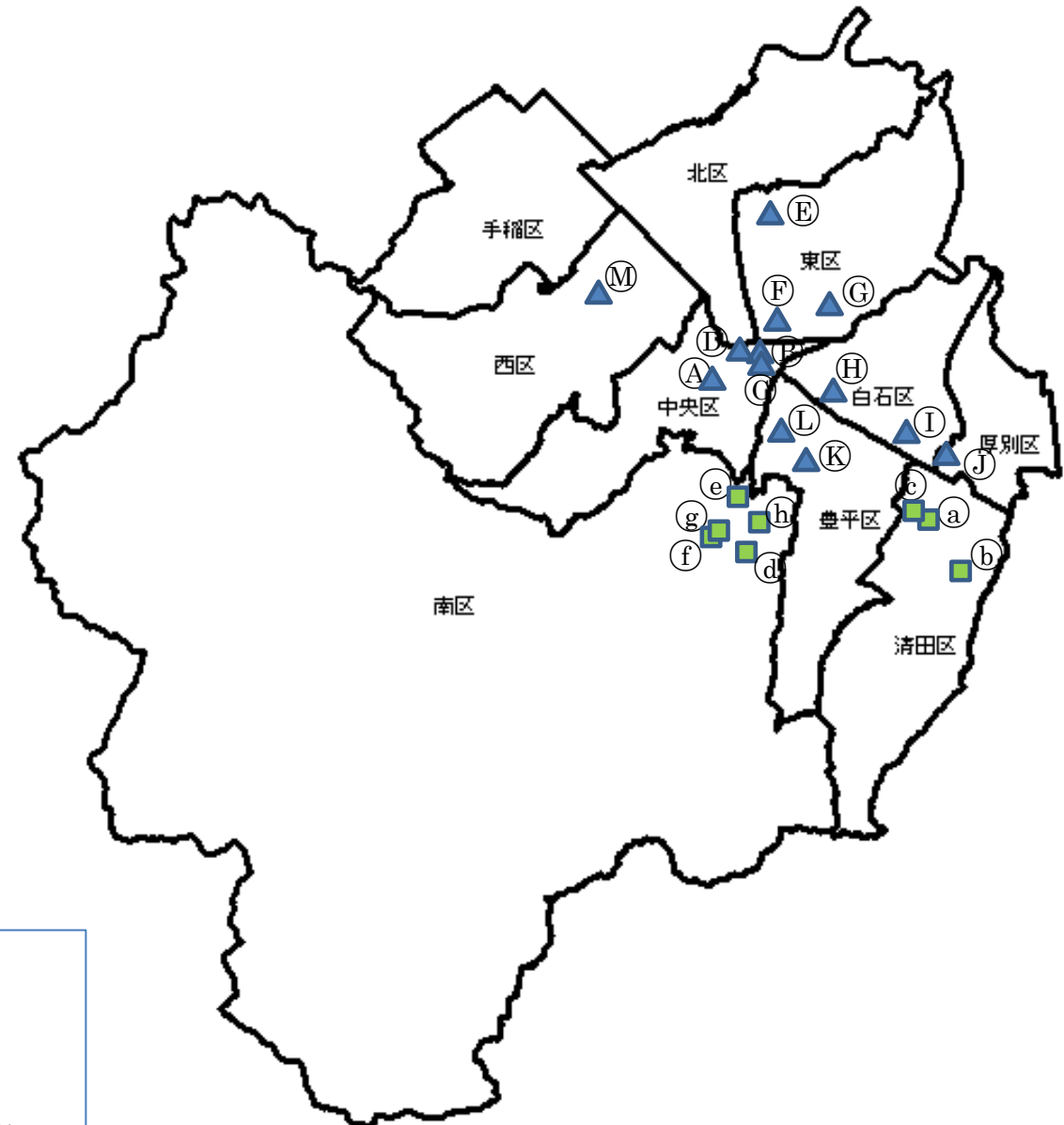
※二次救急においては、けが災害の外科系も担っている医療機関を○とし、けが災害の外科系以外の診療系のみ場合は△としている。

5 札幌市災害時基幹病院の配置図

札幌市災害時基幹病院(現行)



札幌市災害時基幹病院(候補)

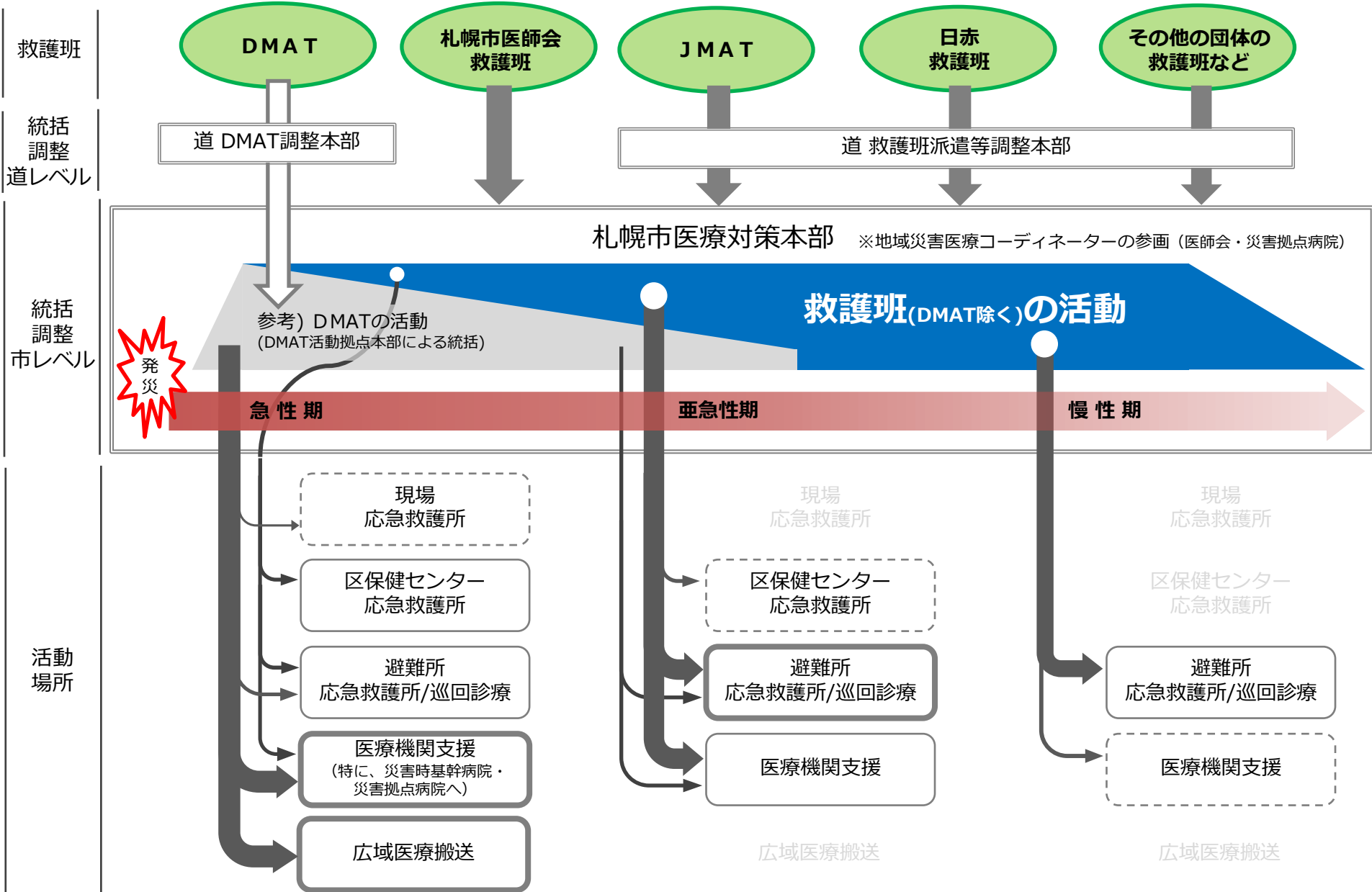


- : 基幹病院(現行)
- ✕ : 救急隊配置場所
- : 候補(清田、南区)
- ▲ : 候補(清田、南区以外)

6 第1回会議における委員からの主な意見

- ・全区に指定するだけでなく、豊平川が分断された際に、右岸、左岸でも対応できるようにする必要がある。
- ・ヘリポートの設置場所や、ヘリの重量などについても考慮する必要がある。
- ・災害拠点病院と災害時基幹病院の棲み分けについて検討する必要がある。
- ・患者の搬送の観点から、病院と消防の位置関係を確認する必要がある。
- ・基幹病院の収容能力を超えた際、受け入れを停止することを防ぐため、後方支援を確保するか、基幹病院の数自体を増やすかの対応が必要ではないか。

札幌市の災害における救護班派遣体制図（案）



札幌市の災害における患者フロー図（案）

